

小学部にこここ（自立活動）グループの取り組みについて

茨城県立鹿島養護学校 教諭 石井 久美子
教諭 細井 久美子

本グループは、自立活動を中心とした教育課程に在籍する児童3名（4年男1名・女1名、6年男1名）で構成されている。学校生活の基盤は、当該学年・学級にあり、個のニーズや実態に合った指導を行うために、以下のような授業時間を設定している。

1 授業名および授業内容

	月	火	水	木	金
1					
2	リズム（ふれあいたいそう）				
3	個別課題 （6年）	かんかく 「ふれる」 「みる・きく」 「あじわう・ かぐ」 など		うんどう 「粗大運動」 など	
4	個別課題 （4年）				
	給食・清掃				
5					個別課題 （4年）（6年）
6					



合同学習（9時間）



学年（個）別学習（2時間）

※空欄は、当該学年・学級の授業に参加

2 具体的な取り組み

（1）リズム

①授業について

- ・筑波大学桐が丘養護学校で考案された「ふれあいたいそう」を参考に、アレンジして皮膚感覚刺激・関節運動を実施している。
- ・児童の一日の生活全体に見通しをもたせ、心身ともにバランスのとれた生活リズムを作ることをねらいとして、毎日2校時目に身体を動かすことを帯状に設定している。

②目標

- ・手足を動かすことにより、手足の血行を促進し、からだの調子を整えたり、拘縮を予防したりするなど健康面での維持増進を図る。
- ・皮膚感覚刺激・関節運動を通して、からだ（特に手足）に対する意識性や認知能力を高める。
- ・人とふれあうこと、かかわりあうことにより、コミュニケーションを深める。
- ・心身のリラクゼーションを図る。

③授業の様子



(2) かんかく

①授業内容（例）

・視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚などの感覚刺激を中心に実施している。

単元名	ねらい	内 容
「ふれよう」	・手指、手のひら等の意識を高める。 ・手、足、指等で様々な素材に触れることにより、皮膚刺激の経験の拡大を図る。 ・皮膚刺激に対する快・不快等を各々の手段で表現する力を育てる。	・ふれあいたいそう「ふあふあ」 ・小麦粉、片栗粉、スライム、風船粘土 ・はけ、スポンジ、たわしなど
「みよう・きこう」	・視覚刺激や聴覚刺激を中心とした活動を通して、見る力・聞く力の向上を図る。 ・遊びを通して、人や物への興味・関心の幅を広げる。	・光遊び（ミラーボール、スポットライト、ペンライトなど） ・音遊び（CD・カセット、楽器、日常生活品を利用した音など） ・パネルシアター、ビデオ、絵本、紙芝居 ・外気浴
「かこう・あじわおう・ふれよう」	・嗅覚、味覚、触覚等の刺激に対する感覚受容力を育てる。 ・手足への心地よい働きかけにより、血行を促進するとともに、心身のリラクゼーションを図る。	・ふれあいたいそう「ふあふあ」 ・手浴、足浴（入浴剤、アロマオイルなど） ・ホットケーキ

②「ふれよう」の授業について

○目標

- ・手・足・指等の皮膚をとおして、小麦粉・片栗粉・スライム・風船粘土のいろいろな感触を経験することが出来る。（慣れる）
- ・皮膚刺激に対する快・不快等を、各々の手段で表現することができる。
- ・身体や手指の動きを拡大し、素材に働きかけることができる。
- ・友達や教師と一緒に遊ぶことの、楽しさを味わうことができる。

○展開例（略案）

時間	学習内容・活動	指導上の配慮点
10:40	準備：スモッグを着る。靴下を脱ぐ等 1 始めのあいさつ	・あいさつをしてくれる人を募る。 ・児童の意欲を大切にする。 ・あいさつへの積極的な参加を促すと同時に、学習の始まりが分かるようにする。
10:42	2 「ふあふあ」手（足）	・手（足）へのアプローチをとおして、以降の活動の準備とする。 ・血行の促進、感じる・働きかける手（足）になって欲しいという願いを込めて・・・
10:50	3活動する ①ハケ、スポンジ、たわし等による刺激 ②「小麦粉」 「片栗粉」 「スライム」 「風船粘土」 } いずれか1つ ・小麦粉・片栗粉は、水を加えて形態を変えていきます。 サラサラ→ベタベタ→ドロドロ	・刺激に対する快・不快の表現を引き出す。 ・教師が遊んで見せたり、小麦粉等を児童の手につけたりする。 ・その他、適切な支援を行う。 ・快・不快を受け止める。

11:25	③お湯で手（足）を洗う	
11:35	4感想を発表する。	・ 全員が発表する
11:40	5終わりのあいさつ	・ あいさつをしてくれる人を募る。 ・ 児童の意欲を大切にする。

③授業の様子

「ふあふあ」（筑波大学附属桐が丘養護学校考案）を実施している様子



音楽が流れる中で、教師とのかかわりあいを楽しみ、リラクゼーションできている。笑顔がたくさん見られ、終了後には、手が温まり指先まで力が抜けて広がっていることが多い。

風船粘土に触れている様子



風船粘土を提示すると、興味を示して自ら近づいて触れる児童がいた。自力移動が難しい児童には、教材を近づけて提示した。すると、それに触れようと手を伸ばす様子が見られた。

風船粘土は、素材が変化する様子を見たり（色の変更可）触れたりして楽しむことができる。風船様に膨らますこともできる。

(3) うんどう

①授業内容（例）

単元名	ねらい	内 容
「ゆらゆら揺れよう」	- 様々な遊具や遊具での遊びを通して、いろいろな揺れやダイナミックな動きなどの運動感覚の経験の拡大を図る。 - 教師からの働きかけにより、児童の興味・関心・意欲を高め、自発的な動きを引き出す。	- 触覚ボール、ボディボール - シーツブランコ - ローリング
「遊具で遊ぼう」		- ボールプール、大玉 - ボールスライダー - ブランコ、すべり台
「ぴょんぴょん跳ぼう」		- トランポリン - パッキンマット

②授業内容について

○ 目標

- ・シーツブランコやボディボール等の遊具での遊びを通して揺れる感覚を感じることができる。
- ・手足の曲げ伸ばしの準備運動により、体を動かすことができる。
- ・遊具に興味、関心を持ち、自発的に手を伸ばすことができる。

○ 展開例（略案）

時間	学習内容・活動	指導上の配慮点
10:40	1 始めのあいさつ	・あいさつをしてくれる人を募り、みんなであいさつをする。
10:45	2 準備体操	・教師とペアになって横になり、腕から曲げ伸ばし運動を始める。 ・音楽をかけながら準備体操を行うが、児童の様子に応じて、各自のペースで行う。
10:55	3 歌をうたおう 「さんぽ」を歌う。	・活動への意欲を引き出すために歌を元気に歌う。 ・途中、児童の様子を見ながら、足踏みや拍手等で楽しい雰囲気の中歌うことができるように配慮する。
11:00	4 ゆらゆら揺れよう ・ ユサブランカ ・ ・ ローリング（寝転がって回転）	・安全に配慮しながら活動を行う。 ・大きな揺れや小さな揺れなど様々な揺れを感じることができるようにする。 ・遊具に手を伸ばそうとしたり、近づいてきたりするときには児童の意欲として受け止め、すぐに活動を行う。
11:35	5 感想発表	・一人ずつ教師と一緒に感想を発表する。
11:40	6 おわりのあいさつ	・あいさつをしてくれる人を募り、みんなであいさつをする。

③ 授業の様子



ユサブランカの様子（回転の揺れや前後の揺れを楽しむ）



アニマルスイング
（回転の感覚を楽しむ）



ローリングの様子
（筒状のマットの中に入り、手足をもって回転する）

中学部（自立活動）の取り組みについて

茨城県立鹿島養護学校 教諭 飯塚 朋浩

9:30 登校

9:40 看護職員による：バイタルチェック

9:50 自立活動1 学習形態：個別

10:20 自立活動2 学習形態：生徒2名，教師1名

11:10 学年活動に参加（教室移動）

12:00 昼食（経営栄養）

13:30 休息 ベット上

午後の授業は、学年活動に参加できるよう配慮中

14:00 下校



担任は、検温，血中酸素濃度，脈拍を看護職員と共にチェックしています。

落ち着いているときには、このような笑顔が見られます。



0. Y君の笑顔の引き出し方

- *抱っこをしたとき
- *教師が顔を近づけたとき
- *体をタッピングしたとき
- *体を揺らしたとき



生徒の実態

點頭てんかん，小児脳性麻痺，食事は流動食
移動は車いす，身辺処理は全介助を要す
1日に発作がしばしばみられる 体温調節が難

学校では，次の3点，医療的処置を実施している
鼻腔経管栄養摂取，座薬投入，鼻腔口腔吸引

登校は週3回（月・水・金） 母の自家用車にて送迎
体調に応じて，半日で下校すること多い

学習形態は

主に医療的ケアルーム（にこにこルーム）にて，
教師1名と本生徒1名のマンツーマン
1日に1時間だけ，同学年の生徒とふれ合うことが
できるようにしている

O.Y 君の1日 授業内容の紹介



自立活動1 ふれあいたいそう の様子

ねらい：いろいろな姿勢に慣れることができる
(該当内容 自立活動 4 体の動き)

様子：「にこちゃんたいそう」の中の一場面。
寝た姿勢でいることが多いので、背中
を上に向けた姿勢になっているところ。
クッションなどを使わずに、教師の膝
をクッション代わりに利用しています。



自立活動2 温浴 の様子

ねらい：「気持ちいい」「温かい」といった快の
言葉を知ることができる。
(該当内容 自立活動 1 健康の保持)

様子：入浴が困難なため、体を温めたり、拭
いたりしてる場面。顔～手～足へと温める
部位を変えていきます。これは足浴の様子。
温めながら、「気持ちいいでしょう？」
「温かいでしょう？」と問いかけをしながら
進めています。



学年活動に参加している様子 特別活動の時間

ねらい：習字の文化を体験することができる。
(該当内容 自立活動 3 環境の把握)

様子：寝た姿勢で習字の筆を持っています。
墨汁の匂いをかぐ経験がなかったので
何だこの匂い？という表情の中での活
動でした。手元を集中して見ることが
できました。手と目の協応といった、
機能訓練的な内容も含まれています。